「ワクチンバンク」試行　福島県　市町村間の需要調整　河北（福島）21・7・16　Dfile2021.7下　P29

福島県は、県内の市町村間で新型コロナワクチンを融通し合う「ワクチンバンク」を試行した。これは余剰分が出た自治体から供給不足に陥った自治体にワクチンを届け、接種の効率化を図る県独自の取り組み。県に事前に報告すれば、市町村間で直接やり取りする方法も県は容認した。

【東京都議会議事録】

学校間でコロナ対策用具（マスクと消毒用アルコールなど）の在庫を相互に融通することは可能　とのみ記載

【東京都の取り組み】

<https://www.nhk.or.jp/shutoken/newsup/20210922d.html>

新型コロナのワクチン 渋谷区から新宿区へ 自治体間で融通する動き

2021年9月22日

・国からのワクチン供給量が減ったことなどを受けて、希望しても接種を受けられない人もいたという東京・新宿区が隣の渋谷区から1万1700回分のワクチンを融通してもらうことになった。（渋谷区はワクチン接種の予約に空きがある状態で、「接種を希望する区民に影響はない」としている）

・港区 異物の混入でワクチンが使用できなくなり、台東区と板橋区から合わせて5000回分のワクチンを受け取る

・狛江市 接種枠の一部を世田谷区民に提供

都は、調査で全体状況を把握し、ニーズを見ながら自治体の間でワクチンの融通を行い、ことし11月中に希望者全員への接種を完了させたいとしている。